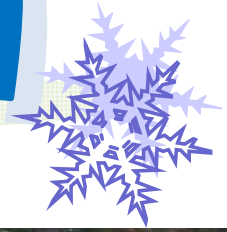
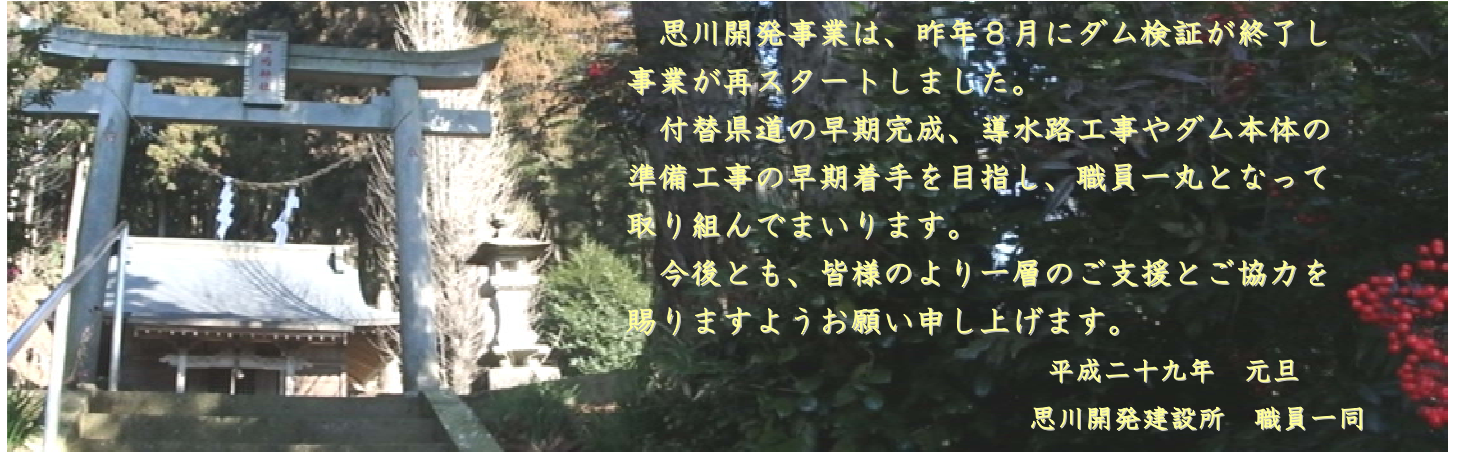


河川の連携・地域をつなぐ明日への水 思川開発

# 思川だより



平成29年1月1日 第56号



思川開発事業は、昨年8月にダム検証が終了し事業が再スタートしました。

付替県道の早期完成、導水路工事やダム本体の準備工事の早期着手を目指し、職員一丸となって取り組んでまいります。

今後とも、皆様のより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成二十九年 元旦

思川開発建設所 職員一同

撮影場所：鹿嶋神社（鹿沼市上南摩町）

## 上南摩の新そばに舌鼓 ～上南摩そば祭り～

平成28年11月27日、今回で9回目となる「<sup>かみなんま</sup>上南摩そば祭り（上南摩そば祭り実行委員会主催）」が開催されました。

そば処鹿沼市においても美味しいと評判の上南摩産のそばですが、当日、会場に出された新そばは特別な美味しさ。また、会場では杵つきの実演による「からみ餅」も販売され、お土産用の新そばとともに早々に完売、食事用に提供されたそばも、終了時間前に売り切れとなる盛況ぶりでした。

今年は当建設所からも初めてスタッフとして参加（後援）させていただきましたが、若手を中心とする職員らが、会場設営から当日のお手伝いまで、地元上南摩の方々と協力しながら楽しいひとときを過ごさせていただきました。

次回はいよいよ節目となる10回目。また美味しい新そばが食べられますように。



## 付替県道工事の状況

思川開発建設所では、付替県道<sup>かみ</sup>上久我<sup>くがどちぎ</sup>枋木線の進捗を図るため、現在「付替県道2号トンネル工事（H28.10.1～H29.12.20）」、「付替県道5号橋上部<sup>しょうぶこう</sup>工事（H28.10.5～H29.12.8）」、「付替県道粟沢<sup>あわざわ</sup>7工区その2工事（H28.10.29～H30.1.11）」の3工事を進めています。



これら3工事のうち「付替県道2号トンネル工事」については、現在、上流側のトンネル坑口付近の掘削や法面保護工事を実施中であり、平成29年2月には本格的なトンネル掘削にかかる予定です。また、「付替県道5号橋上部工事」では橋桁（鋼製）の製作を、「付替県道粟沢7工区その2工事」では測量や伐採などの準備作業を、それぞれ進めているところです。

工事を進めるに当たっては、騒音・振動・濁水に対する環境保全対策を行うとともに、工事車両の通行など安全対策にも万全を期して参ります。皆様方には引き続きご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



付替県道2号トンネル工事  
【工事着手前（平成28年10月）】



付替県道2号トンネル工事  
【施工状況（平成28年12月）】

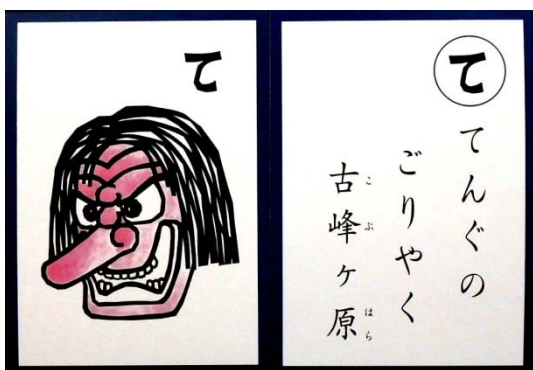
## ダムの豆知識 2

### 洪水調節について

今回は、ダムの役割の一つである「洪水調節」について紹介します。ダムの上流に雨が降ると、ダムに流れてくる水の量が増えます。それをダムに貯めて、流れてきた量よりも少ない量を下流に流す操作が「洪水調節」です。洪水調節により、ダムより下流の川の水が増えることを小さくできるため、洪水による被害を減らすことができます。洪水調節の時には、ダム管理所の職員は、下流の川の水位や降雨の予測・ダムの貯水位・ダムに流れてくる水の量・ダムから下流に流す水の量などのデータを常に監視し、細心の注意を払いながら、洪水調節のための操作を行っています。

## 下野かるたより

栃木県内のかるたを用いて、様々な歴史・文化を紹介しているこのコーナー。今号は、前回に引き続き、栃木県文化協会発行の『<sup>しもつけ</sup>下野かるた』からの紹介です。



<古峰神社（ふるみねじんじゃ）>  
日本全国から参拝者が訪れるこちらは、鹿沼市<sup>くさぎゅうこぶがはら</sup>草久古峰ヶ原<sup>やまとたけるのみこと</sup>にあり、日本武尊を祭神としています。  
別名「天狗の社」とも呼ばれており、天狗の面や人形、火箸、下駄などが所せましと掲げられています。



# 思川散策

<思わず行きたくなる思川>を発見する「思川散策」。  
今回も建設所周辺の下粕尾をピックアップ!

## 長い峠に長い歴史 悠久感じる下粕尾<sup>しもかすお</sup>

当建設所沿いの県道15号を西へ直進すると望む粕尾峠。その入り口付近に「常楽寺」<sup>じょうらくじ</sup>はあります。別名録事尊とも呼ばれ、名医の中野智元<sup>なかのちげん</sup>（録事法眼<sup>ろくじほうげん</sup>）を祀った名刹です。9月には彼岸花が咲き乱れ、真っ赤な参道の見学に毎年愛好家が訪れます。2月11日の「録事尊の大祭」では、護摩法要が行われ、参道に並ぶ露店がにぎわいます。間もなくの開催に今から楽しみです!

更に峠を進むと、永野地区への分かれ道にぬくもりある施設が。「清流の郷かすお」<sup>さと</sup>は、新鮮な野菜や手作りの味噌など、粕尾自慢の特産品が並ぶ交流施設です。名物のそばや大人気のジェラートを食べれば、粕尾の虜間違いないし!

その他の道中スポット

▼星宮天満宮<sup>ほしのみや</sup>：圧倒されるほどの壮大なスギの数々

▼双体道祖神<sup>そうたいどうそじん</sup>：粕尾峠に祀られる男女和合の神(47号でもご紹介)



彼岸花が咲く常楽寺の参道  
(鹿沼市観光物産協会 HP より)



清流の郷かすお

## 上南摩の動植物



(写真) 上南摩周辺で撮影されたオシドリ

仲の良い夫婦を「おしどり夫婦」と呼ぶことがありますが、鳥類のオシドリは毎年冬ごとにパートナーを替え、雛も夫婦で協力して育てることはないそうです。今回はそんなオシドリについて紹介します。

和名：オシドリ(カモ目カモ科オシドリ属)

分布：中国東北部、沿海地方、朝鮮半島など極東地域で繁殖し、冬は南へ渡ります。日本では本州中部以北で繁殖し、冬季は西日本などでも越冬します。

○環境省：情報不足、栃木県：準絶滅危惧(Cランク)

オシドリは、湖沼や河川などに生息し、繁殖期には森林に囲まれた湖沼や溪流<sup>じゅうりゅう</sup>に生息します。巣は水辺の樹洞に作り、ドングリやさまざまな植物の茎や種子、昆虫類などを食べています。栃木県内では、山間部のダム湖において数百羽の群れが飛来することもあるそうで、上南摩周辺の水辺においても確認されています。

(出典：環境省レッドリスト2012版、栃木県版レッドリスト2011改訂版、2005レッドデータブックとちぎ)

## 再発見！鹿沼の魅力（第2回）

### 鹿沼今宮神社祭の屋台行事 ユネスコ無形文化遺産に登録！

今回ご紹介するのは12月1日にユネスコ無形文化遺産に登録された<sup>かぬまいまみやじんじや</sup>鹿沼今宮神社祭の<sup>やたい</sup>屋台行事です。今宮神社のお祭りは慶長13年（1603年）に行なった雨乞いの祭りが起源とのことで、現在は「鹿沼秋まつり」として10月第二土・日曜日に行なわれます。お祭りでは豪華な彫刻で飾られた屋台20台ほどが今宮神社や市内の交差点で「ぶっつけ」（二台以上の彫刻屋台が向かい合って、お囃子を激しく演奏し合い、調子を狂わせず演奏することを競うもの）を行なっています。秋まつり以外の時期でも、彫刻屋台のいくつかは「屋台のまち中央公園」等で常設展示されており、自由に見学ができるとのことです。

【出典】鹿沼秋まつり公式サイト：<http://www.buttsuke.com/about2.html>

鹿沼市 HP：<https://www.city.kanuma.tochigi.jp/0281/info-0000003337-0.html>



お囃子を演奏し合う「ぶっつけ」



豪華な彫刻で飾られた屋台

画像提供：鹿沼市観光交流課

### 編集後記

前回から紙面を新しくしている思川だよりですが、いかがでしたでしょうか？地元地域、関係地域・機関、思川開発事業をつなげる橋渡しになればと思っております。新年が皆様にとりましても、思川開発事業にとっても良い年となることを祈念しております。

### お知らせ

- ▼思川開発建設所では、随時、現場をご案内いたします！詳しくはお電話またはHPをご覧ください！
- ▼「思川だより」に関するご意見・ご要望を募集しています！お気軽に下記連絡先までお寄せ下さい！

編集・発行



独立行政法人水資源機構 思川開発建設所

〒322-0305 栃木県鹿沼市口栗野 839-2

T e l (0289) 85-1110 F a x (0289) 85-1211

<http://www.water.go.jp/kanto/omoigawa/index.html>

思川開発

検索